

〈ご参考〉「サントリー 天然水の森」一覧

2026年3月25日現在

名称	契約年月	契約年数	契約形態	面積	活動概要
天然水の森 阿蘇 (熊本県)	①2003年 2月 ②2010年 7月 ③2015年 8月	①60年 ②5年 ごとに更新 ③30年	①林野庁 「法人の森林」 ②林野庁 「社会貢献の森」 ③熊本県 「企業・法人等との協働の森づくり協定」	約420ha	水源涵養機能向上を目指した人工林エリアの間伐や、植生配置及び林分構造の適正化による生物多様性の保全活動を推進中。
天然水の森 子持山 (群馬県)	2004年 11月	35年	林野庁 「法人の森林」	約5ha	群馬森林管理署と協働し森林整備活動を実施中。
天然水の森 赤城 (群馬県)	①2005年 12月 ②2008年 12月	①30年 ②5年 (100年間 更新)	①林野庁 「法人の森林」 ②林野庁 「社会貢献の森」	約1,310ha	広大なエリアを植生調査した上でゾーニングし、それぞれのエリアに最適森づくりを計画。 育林材(間伐材)を搬出して有効活用を図るために環境に優しい作業道を設置。あわせて植樹エリアの獣害防止およびサクランボ保護の為に柵を設置。
天然水の森 奥大山 (鳥取県)	①2007年 2月 ②2007年 6月 ③2010年 8月 ④2010年 12月 ⑤2016年 7月 ⑥2019年 3月	①②③⑤ 30年 ④⑥5年 ごとに更新	①林野庁 「法人の森林」 ②③⑤鳥取県 「とっとり共生の森」 ④林野庁 「ふれあいの森」 ⑥環境省・鳥取県江府町と サントリーの独自協定	約495ha	①間伐や環境に優しい作業道の開設などを実施中。 ②③⑤間伐や育林材の搬出と利活用などを実施。また鳥取大学による各種調査と実験的施業を実施中。 ④関係者と共に協議会を設置し、活動計画を協議しながら森林整備活動を実施中。 ⑥人工林・広葉樹林・草原・湿原の各エリアで必要とされる整備活動を行い、水源涵養機能と生物多様性の向上を推進。
天然水の森 南アルプス (山梨県)	①2008年 10月 ②2019年 6月	①30年 ②5年ごと に更新	①「やまなし森づくり コミッション」と協力し、 北杜市、鳥原三耕地財産 管理会、地元森林組合と 森林整備協定を締結。 ②山梨県とサントリーの 独自協定	①約180 ha ②約1,847 ha	①学識経験者による水文調査、土壌微生物調査や土砂流出 評価など、地下水の涵養力を評価するための研究を実施し、 それに基づいた森林整備活動を展開中。 また、育林材(間伐材)を利活用する炭焼き施設を地元集落 に設置するなど、総合的な活動を実施中。 ②山梨県と協働し、シカの食害対策や植生の現況等に関する 調査研究を行い、水源涵養機能と生物多様性の向上を推進。
天然水の森 丹沢 自然再生 プロジェクト (神奈川県)	2009年 12月	5年 (100年間 自動更 新)	「丹沢大山自然再生 委員会」の「自然再生プロ ジェクト」として神奈川県 と協定を締結。	約577ha	神奈川県と協働し、土壌や水文に関する研究や、森林の保全・ 再生と活用手法の検討と実践、水と土と生き物のつながりに 着目したモニタリングなどを実施中。
天然水の森 きょうと 南山城 (京都府)	2010年 2月	30年	京都府、木津川市・井手町・ 笠置町・和束町・南山城村、 京都モデルフォレスト協会 との協定に基づき複数の 土地所有者と森林整備契約 を締結。	約917ha	公有林・財産区有林・生産森林組合所有林・寺社有林等の 多様な所有形態の森林において、活動を展開中。これまで、 植生調査や鳥類調査、間伐のほか、作業道、植生保護柵の 設置や土壌流失防止工等の森林整備を実施し、育林材 (間伐材)の一部は搬出し活用を推進中。

天然水の森 奥多摩 (東京都)	2010年 4月	30年	あきる野市有林 「共生・協働の森」	約54ha	あきる野市有林「共生・協働の森」については、植生調査・ゾーニングを実施し、作業道の設置、人工林の整備などを計画する。
天然水の森 ひょうご 西脇門柳山 (兵庫県)	2010年 12月	30年	①兵庫県・西脇市・兵庫県 緑化推進協会との協定に 基づき、門柳山保護会生産 森林組合及び3つの寺社 と森林整備契約を締結。 ②門柳山保護会生産森林 組合が個人森林所有者の 代表となり、西脇市が 立会人となって森林整備 協定を締結。	約1,056ha	「新ひょうごの森づくり」に参画。植栽調査・鳥類調査等を通じて、総合的な森林整備を図る。間伐や植樹の他、作業道、植生保護柵の設置や土壌流失防止工等の森林整備を実施し、育林材（間伐材）の一部は搬出し活用を推進中。
天然水の森 近江 (滋賀県)	2010年 12月	30年	滋賀県・蒲生郡日野町の 立会いのもと、綿向生産 森林組合と協定締結。	約191ha	「琵琶湖森林づくりパートナー協定」に参画。現地はヒノキ・スギ人工林の構成が高い林分で、間伐の他、作業道の開設と育林材（間伐材）の活用を推進している。植生保護柵を設置する他、様々な植樹の実験とモニタリングも実施中。
天然水の森 ぎふ東白川 (岐阜県)	①2010年 12月 ②2012年 3月 ③2015年 12月	①5年 ごとに更新 ②③30年	①林野庁 「社会貢献の森」 ②岐阜県「企業の森」 ③東白川村とサントリー の独自協定	約631ha	岐阜森林管理署・東白川村・サントリーの3者を中心に、岐阜県にもサポートして頂きながら、長期間にわたって高い水源涵養機能が発揮できる森林整備を推進中。
天然水の森 東京大学 秩父演習林 プロジェクト (埼玉県)	2011年 7月	5年ごとに 更新	東京大学大学院農学生命 科学研究科と森林整備 協定書・研究協定書を締結。	約2,502ha	研究テーマに沿った森林整備計画を立案し、主に水源涵養と生物多様性に寄与する森林整備を実施。レーザー航測による植生解析やシカの行動解析・植生保護・作業道の整備など多義にわたる研究と整備を実施中。
天然水の森 東京農業大学 奥多摩演習林 プロジェクト (東京都)	2011年 10月	30年	東京農業大学と森林整備 協定書・研究協定書を締結。	約116ha	長期・中期・短期計画に沿った森林整備計画を立案し、レーザー航測を利用した植生調査や林内路網の整備を行う。また、多様な森林の造成、教育・研究に資する各種試験地の設定、または、木材の利用促進等の研究を実施中。
天然水の森 きょうと西山 (京都府)	2012年 3月	30年	長岡京市奥海印寺土地 個人所有者代理人として、 長岡京市森林組合と協定 を締結。	約193ha	レーザー航測に基づき、作業道の開設を進め、材の利用を目指した搬出間伐も行っていく。植生や地質・地形などの情報に基づき、整備の優先順位を決めていく。
天然水の森 おおさか島本 (大阪府)	①2012年 12月 ②2014年 6月 ③2016年 4月 ④2017年 2月	30年	島本町における町有林 および財産区有林、民有林、 大阪府の府行造林地にて 森林整備協定を締結。 大阪府森林組合が土地 所有者の代表となり、 島本町が立会人となって 森林整備協定を締結。	約353ha	植生調査等を通じて、適正な森林整備を進めていく。人工林については切捨て間伐を行い、作業道の開設も進めながら、将来的には利用間伐を目指す。また、土砂流出箇所が多い区域では、適切な土留め工やヤシネット工を行っていく。

天然水の森 多摩源流小菅 (山梨県)	2013年 4月	30年	小菅村が、多数の個人土地所有者の地権者代表となることで、小菅村と協定を締結。	約102ha	東京農業大学(多摩源流大学・NPO法人こすげなど)と連携し、村の活性化に向けた取り組みも考えながら森林の整備を進める。森林整備では、人工林の搬出間伐、天然林の利用間伐、作業道の開設など進めていく。
天然水の森 とうきょう 秋川 (東京)	2014年 12月	30年	土地所有者の東京都競馬(株)及び、山林管理者の(株)東京サマーランドと、森林整備契約を締結。	約81ha	レーザー航測を行い、植生調査によるゾーニング計画を立案し、人と自然が触れ合う、景観にも配慮した森林整備を進める。一方、サントリーグループ社員の森林整備研修の場として活用していく。
天然水の森 日光霧降 (栃木県)	2015年 3月	30年	栃木県、日光市と森づくり活動に関する協定を締結。	約154ha	水源涵養機能を高めるだけではなく、観光地としても名高い日光エリアの景観にも配慮した、生物多様性の高い森づくりを目指した森林整備活動を進めていく。
天然水の森 天王山 (京都府)	2016年 10月	30年	土地所有者と大山崎町が森林整備協定を結び、大山崎町が地権者の代表となってサントリーと森林整備協定を締結。	約21ha	最大課題である侵入竹林の整備や、植生保護柵設置、シカ不嗜好性植物植樹によるシカ食害の軽減を進め、地元行政や林業事業者の方々と協働しながら、観光客も多い天王山の景観を重視した森林を目指す施策を実施中。
天然水の森 しずおか小山 (静岡県)	2017年 2月	10年 以後、1 年毎自動更 新	静岡県駿東郡小山町、丸善食品工業(株)との3者にて森林整備協定を締結。	約162ha	広葉樹林に広がるブナ・ミズナラ林の保全、拡大と人工林エリアのスコリア土壌対策を実施していく。
天然水の森 北アルプス (長野県)	①2019年 3月 ②2019年 11月	30年	①長野県の「森林の里親促進事業」にのっとり、大町市と協定締結 ②長野県の「森林の里親促進事業」にのっとり、国交省関東地方整備局と協定締結	①約276 ha ②約165 ha	水文、地質、植生、鳥類など、広範な調査を実施、調査結果に基づき、多様性豊かな森林環境の保全・再生に努める。
天然水の森 とうきょう 檜原 (東京都)	2023年 2月	30年	・檜原村/檜原村木材産業協同組合/サントリーが「森林整備に関する協定」を締結。 ・檜原村木材産業協同組合とサントリーが「土地無償利用許諾契約書」を締結。 ・檜原村木材産業協同組合と個人地権者が「森林施業協定書」を締結。	約96ha	詳細な植生調査やレーザー航測などを実施した上でゾーニング計画を立案し、水源涵養力と生物多様性が高く、景観にも配慮した森づくりを進める。 また、サントリーグループ社員の森林整備研修の場として活用していく。
天然水の森 東京大学 犬山研究林 プロジェクト (愛知県)	2024年 4月	5年ごと に更新	東京大学大学院農学生命科学研究科と森林整備協定書・研究協定書を締結。	約275ha	研究テーマに沿った森林整備計画を立案し、主に水源涵養と生物多様性に寄与する森林整備を実施予定。レーザー航測による地形・植生解析やシカの行動解析・植生保護・作業道の整備などを計画。
天然水の森 勢多農林高校 の森 プロジェクト (群馬県)	2024年 6月	5年ごとに 更新	群馬県教育委員会、群馬県森林環境部との3者にて森林整備協定を締結。	約79ha	勢多農林高校と連携し、植生調査等を通じてビジョンを作成し、適正な森林整備を進めていく。またマツ枯れによる被害も拡大しているため、マツ林の更新に向けて取り組んでいく。

天然水の森 栃木 (栃木県)	2024年 7月	30年	栃木県、栃木市と森づくり活動に関する協定を締結。	約72ha	詳細な植生調査や鳥類調査、レーザー航測などを実施した上でゾーニング計画を立案し、ビジョンを作成する。また栃木市・栃木県と連携し、水源涵養力と生物多様性が高い森づくりを進める。
天然水の森 あいち犬山 (愛知県)	2024年 8月	30年	愛知県犬山市と森林整備に関する協定を締結。	約7ha	犬山市と連携し、植生調査や鳥類調査、レーザー航測などを実施した上でゾーニング計画を立案し、ビジョンを作成。その後、水源涵養力と生物多様性が高い森づくりを進める。具体的には、地域性のある樹種を選定しての樹種転換なども検討する。
天然水の森 ぎふ中津川 (岐阜県)	2026年 3月	30年	岐阜県中津川市と森林整備に関する協定を締結。	約228ha	詳細な植生調査や鳥類調査、レーザー航測などを実施した上でゾーニング計画を立案し、水源涵養力と生物多様性が高い森を目指して整備活動を進める。 更に東海地方屈指の自然景勝地である「付知峡」に隣接するエリアでは、景観に配慮した森づくりも行う。 また、サントリーグループ社員の森林整備研修の場として活用していく。

●その他活動

名称	開始年月	活動エリア	面積	活動概要
西山森林整備推進協議会	2005年 5月	西山 (京都府)	約800ha	京都府等と「西山森林整備推進協議会」を設立。行政・地元自治体などと連携を図り、2005年10月から間伐などの森林整備を実施中。

以上